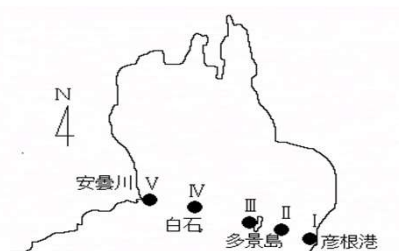


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年6月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご留意下さい。

調査年月日 令和8年6月15日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 …… 5地点の平均値

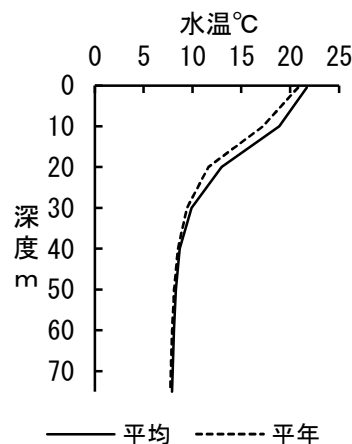
平年値 …… 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 6月平均値 5.6m 平年値 5.8m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	21.7	20.8	+0.9
10	18.9	17.2	+1.7
20	13.0	11.6	+1.4
30	9.9	9.4	+0.5
40	8.7	8.5	+0.2
50	8.3	8.1	+0.2
60	8.1	7.9	+0.2
75	7.9	7.7	+0.2



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
5月下旬	20.1	17.3	+2.8
6月上旬	20.1	19.1	+1.0
6月中旬	22.1	20.6	+1.5

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	6月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	15.4	16.4	-1.0
10~20	3.8	6.0	-2.2
20~40	0.9	2.2	-1.3
40~75	0.8	0.8	+0.0

(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、地点Iでは*Aulacoseira granulata*(スジタルケイソウ:珪藻)、地点IVでは*Mougeotia sp.*(ヒザオリ:緑藻)の細胞数が最も多かった。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生の個体数が最も多かった。



Aulacoseira granulata



Mougeotia sp.



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) ※ウインクラー法による測定値【参考値】。

深度 (m)	6月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	9.4	109.7	10.4	116.1	-1.0	(-6.4)
10	9.2	102.0	10.7	113.5	-1.5	(-11.5)
20	8.9	84.7	10.1	93.5	-1.2	(-8.8)
30	9.1	82.7	10.1	89.3	-1.0	(-6.6)
75	7.9	68.6	8.1	68.4	-0.2	(+0.2)

※多項目水質計は点検整備中のため、今月はウインクラー法により測定した。